

第1回 性の多様性を学ぶセミナー

LGBTの若者の理解と教育現場での支援のあり方

開催趣旨

LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)の推定人口は5%^{※1}程度と報告されています。また、ゲイ・バイセクシュアル男性の自殺未遂リスクは異性愛男性の約6倍高いという調査結果^{※2}や、トランスジェンダーの自殺リスクも同様に高率であることが報告されています。いまやLGBTへの支援は、子どもたちの命と人権を守る上での重要な課題といえるのではないのでしょうか。

本セミナーでは、大規模な調査をもとに、思春期・青年期のLGBTの実態と、支援のあり方を学んでいただきます。また、関連する問題として、HIV感染等の健康リスクと、その予防行動についても解説いたします。

※1 2016年 博報堂調べほか ※2 宝塚大学看護学部 日高庸晴教授ほか調べ

ポイント

- LGBTについて基本から理解できる
- 大規模な調査から得られた、豊富なデータを紹介
- 学校をはじめとした機関での支援のあり方について解説

開催日:平成29年 **7月1日(土)**

会場:平和と労働センター 全労連会館 2階ホール (東京都文京区)

定員:100名

受講料:10,800円(税込)

対象者:医師、保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、
行政機関で思春期相談・自殺対策・人権擁護に携わる方

思春期保健相談士認定カード
更新対象セミナー(1カウント)

プログラム

10:00~10:25	受付
10:25~10:30	開会
10:30~11:40	LGBTの若者の理解 (70分) LGBTの基礎知識/LGBTと人権
11:40~12:40	昼休み
12:40~13:50	LGBTの健康リスクとその予防 (70分) ハイリスク行動の要因/学校等での教育
13:50~14:00	休憩
14:00~15:00	LGBTの若者支援のあり方 (60分) 学校での対応の現状と課題/文部科学省の通知について/環境整備のポイント ほか
15:00~15:15	質疑応答

※プログラムは変更する場合がございます。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)

日高庸晴(ひだか やすはる) 宝塚大学看護学部教授/厚生労働省エイズ動向委員会委員/日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科博士後期課程社会健康医学系専攻修了。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント・流動研究員などを経て現職。法務省企画の人権啓発ビデオの監修や、文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、法務省による国家公務員人権研修、文部科学省幹部職員研修等、国や自治体のセクシュアルマイノリティ理解推進・啓発事業に従事している。

お問い合わせ先

一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話 03-3269-4785 FAX 03-3267-2658 <http://www.jfpa.or.jp/>